

# REPORT & INFORMATION

## 報告とお知らせ

お問い合わせ・もうしこみは

ユニセフ子どもネット事務局

(日本ユニセフ協会 広報室内)

住所: 〒108-8607  
東京都港区高輪4-6-12

でんわ: 03-5789-2016

ファックス: 03-5789-2036

電子メール: [jcuinfo@unicef.or.jp](mailto:jcuinfo@unicef.or.jp)

### お知らせ Information

#### 募集 「子どもの人身売買」キャンペーン

子どもによる活動を企画してみませんか?

計画に参加してくれる「子ども活動プランナー」と活動についての意見を大募集!  
来年から日本ユニセフ協会では、子どもの人身売買をなくすための活動をすすめていくことになりました。まずは、来年2月にイベントを開く予定です。

キャンペーンにあたって、ぜひ子どもたちもこの問題に関わってほしいと考えています。この問題に関心があり、もっと知りたい、もっと知らせたい、子どもの立場からこの問題の解決に関わってみたいと考えているネットワークワーカーに、子どもによる活動を企画してもらえたらいいなと思っ

ています。(人身売買については、2~3ページの記事を読んでください)  
そこで、この活動を計画するメンバーを「子ども活動プランナー」として最大10人募集します。ふだんは主に電子メールで意見交換したり計画をつくりたりして、イベントの時などに集まって、考えた計画を実行してもらおうと考えています。活動期間は、来年の夏休みまでを一区切りとします。

どしどし応募してください

条件: できるだけ電子メールでのやりとりができる人。  
この問題に対して積極的な活動ができる人。

応募の方法: 次のことを書いて、電子メールで送ってください

([jcuinfo@unicef.or.jp](mailto:jcuinfo@unicef.or.jp))

- 1) ネットワーカー番号、2) なまえ、3) 学年(年齢) 4) 住所・電話などの連絡先
  - 5) このキャンペーンでどんなことをしたいか
- しめきり: 12月25日(水)



©日本ユニセフ協会/Nozawa

また、プランナーに応募はしないけれど、子どもの立場から人身売買にどのように取り組んだらいいか意見を言いたいという人も、どんどん意見を送ってください。(メールでもファックスでも郵便でもOK) 場合によっては、いっしょにメールなどで話し合いに参加してもらおうことができるかもしれません。

#### ユニセフ募金活動

### ハンド・イン・ハンド実施中

毎年12月はハンド・イン・ハンド(手に手をとってという意味)月間です。毎年、日本全国でボランティアが参加する募金活動がおこなわれています。今年のテーマ「命を守る一滴 予防接種を世界の子どもに」を合言葉に、街角や学校などで募金を呼びかけます。実際に参加したい人は、近くで活動している団体をさがして一緒に参加したり、学校などで仲間をつかって参加申し込みをしたりすることもできます。(申し込みはお早めに)



©日本ユニセフ協会/Nozawa

12月23日(祝)の午後には、東京の恵比寿ガーデンプレイスで中央大会が開かれます。日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンさんや、スポーツ選手などたくさんのお名前も協力してくれる予定です。

#### 新しい資料のご紹介

**みんなに伝えたい この想い**  
~第2回 子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議 子ども&若者プログラム~ 20分

ユニセフ子どもネットニュースでも何度かとりあげていますが、昨年12月に横浜で開かれたこの世界会議で、子どもや若者たちがどのように活動したかをえがくドキュメンタリービデオです。



©日本ユニセフ協会/Nozawa

**世界子供白書2002 リーダーシップ** 10分  
国連子ども特別総会が開かれた今年の世界子供白書は、世界の子どもたちが健康に幸せに暮らせる世界をつくるために、政府やさまざまなレベルのリーダーシップを求めました。国連子ども特別総会に向けて世界各地でくりひろげられた活動のようすなどを報告しています。



©UNICEF/Stacy Sullivan

**ユニセフと世界の子どもたち**  
世界162の国と地域で活動するユニセフの活動や世界の子どもたちのようすを、映像と説明で見ることができます。(ビデオ「ユニセフと地球のともだち」をベースにしています)

\*ビデオとCD-ROMを貸し出しています。借りたい人はユニセフ子どもネット事務局まで申し込んでください。(返却のときの郵送料だけ負担してください)

こんなことをやりました!

### 関西学習会の報告

日時: 11月3日(祝) 10:30 ~ 16:00  
会場: 生活共同組合コープこうべ 生活文化センター5階

午前

1. 自己紹介
2. ユニセフとは??!  
「世界子供白書2001」と去年の横浜会議のビデオを見て、世界の子どもの現状(これからの課題など)を学びました。
3. これからの活動  
これからやっていきたいことを話し合いました。右のようなアイデアが出ました。

全国の各地域の学習会が分担して1ヶ国ずつ、いろんな切り口から調べる。全部が集まれば世界中のことが分かるようになるという壮大な計画です。  
ハンド・イン・ハンドに参加してみる。  
今までに出た宣言文や条約を自分たちの言葉になおす。公式文書のむずかしい言葉をわかりやすく、できれば関西弁に直そう!  
各学校の文化祭でユニセフに関する展示をする。  
来年からのキャンペーン「子どもの人身売買」に関わる。関西で開かれる、「世界水フォーラム(2003)」に関わる。エイズの世界会議に関わる。

今回は と について話し合うことにしました。

#### ハンド・イン・ハンド

関西の子どもネットワークと、その友だちを誘ってハンド・イン・ハンドに参加することにしました! 駅、警察などに許可を取る人、ユニセフ協会と連絡を取る人など、役割を決めました。場所は人数と許可がとれるかどうかで決めます。最終打ち合わせと、それぞれが誘ってきた友だちの顔合わせを、12月28日(土)にすることにしました。

午後

#### 子どもの人身売買キャンペーンについて

##### 春から計画されている署名活動などに参加しよう

- ・署名は、ちゃんと内容を知ってからじゃないと募金のように気軽にはできない。  
⇒街頭では無理 ⇒個人で各学校などでやる ⇒まず私たちが知らなきゃ何もできない!! ⇒人身売買について調べよう ⇒どうやって調べる??
- ・地域を東南アジアに限定する。
- ・署名活動が始まる頃に、一般の人に知ってもらえるようにワークショップを開くことを目標にする。⇒参加してくれた人が身の回りで署名を集めてくれるように...
- ・毎月一回の割合で集まって、調べてきたことを共有する。  
人身売買について調べていると必ず子どもの商業的性的搾取の問題にもぶつかるので、そこからエイズのことも発展させられるはず...

こんな感じで少人数だけど、楽しく有意義な話し合いができたと思います。人数を増やすことが次からの目標なので、ハンド・イン・ハンドでは友だちをいっぱい誘って、人身売買の学習会では18歳以上の元ネットワークワーカーや、横浜会議(と川崎セミナー)に参加していた大中学生も巻き込もうかなあと考えています。

報告者: 若島 史(16歳)

### Letter

アメリカ在住のユニセフ子どもネットワーク 田代準之介君からのおたより

お久しぶりです。今年の6月にアメリカ・カリフォルニア州に引っ越した、ユニセフ子どもネットワークの田代準之介(13歳)です。  
ぼくと兄の竜太郎(15歳)は、現在、近所のUnited Nations Store(国連ギフトショップ)で、週一度、ボランティアをしています。ボランティアの内容はさまざまで、接客、レジ打ち、値札はりから、そうじ、商品の注文など、何でもやりま

と、クリスマスの時は息をつくひまがないほど忙しらしく、12月にはいる前に、準備しておかないといけないそうです。最近あまりお客さんが多くないのですが、時にはお客さんと話をして個人的なつながりを作ったりすることもあり、とても楽しいです!

10月31日はハロウィンで、ぼくはユニセフが実施している"Trick-or-Treat for UNICEF"という募金活動をしました。通常のハロウィンは、子どもたちが"Trick or Treat(いたずらされた!? それともおかしをくれる?)とって近所の家庭を訪問し、おかしをねだるのですが、この募金活動の場合は、"Trick-or-Treat for UNICEF, please(いたずら? それともユニセフ募金を?)とって、募金をしてもら

うものです。ぼくは20分くらい歩きまわって、17ドル(およそ2000円)くらい集めました。

2002年11月11日 田代準之介君のメールより抜粋